

## 中学校向け住生活出前授業「青森県の住宅と住まい方」 授業例

- ・ 中学校技術家庭科で行う「住まいの役割」及び「家族の生活と住まいのかかわり」の授業について、建築士を外部講師として導入した場合の授業例
- ・ 使用するワークシート：「青森県住まい・住まい方読本」15頁

	担当	項目	内容	時間	留意点
導入	教員	本時の目的	<p>■本時の授業の目的について教員から説明。</p> <p>・(例)住まいの役割や機能を理解し、家族とともに生活でき、より良い住まいとするための工夫や配慮等について考える</p>	3分	<p>■GTより職業に就いたきっかけや職業の魅力も話してもらって、職業観育成のきっかけへと繋がる。</p> <p>■GTは平易な表現(専門用語を避ける)を用いて話す事が望ましい。</p>
	教員	ゲストティーチャー(以下、GT)の紹介	<p>■教員がGTを紹介。自己紹介も兼ねてGTが挨拶。</p> <p>・教員：GTの役割を説明する。(例)依頼者からの様々な要求に応じて最適な住まいをデザインするプロである建築士より、家族のための工夫の仕方について講演をいただく)</p> <p>・GT：職業に就いたきっかけや職業の魅力などを交えて自己紹介をする。</p>		
展開	GT	講演① 住まいの役割	<p>■住まい・住宅は何のためのもの？</p> <p>・そもそも住まい・住宅は何のためにあるのか、役割は何なのか</p> <p>・本県と他県、津軽と南部の住宅の違い</p>	7分	■読本p12～14及び使用教科書を意識
	教員	演習 家族構成に応じた住まいの空間の使い方	<p>■20年後の自分の家族構成を想像し、必要な住まいの工夫点や配慮することを考える</p> <p>・教員：20年後の自分の家族構成を設定して、特徴(配慮が必要な事項)を考えさせる。(WS-p15記入)</p> <p>・教員：設定した家族構成で与えられた間取りに住むと仮定し、各部屋の使い方等を考えさせる。(WS-p15記入)</p> <p>■全体で共有する。</p> <p>・教員：考えた内容を発表させる。</p>	25分	<p>■個人で作業することが基本となるが、必要に応じてグループで話し合い、発表させることで、他の意見を共有することが望ましい。</p> <p>■各部屋の使い方では、既存のままでの使い方の工夫のほか、リフォームなどで間取りを変更して工夫することも考えられる。それぞれ理由も考えさせる。</p>
	GT	講演② 家族の生活に配慮した設計事例を通して講演	<p>■住まいや住まい方の工夫で家族がより幸せに</p> <p>・演習の発表に対するアドバイス</p> <p>・家族の生活を視点とした設計事例</p> <p>・リフォームや使い方の工夫により家族構成の変化等に対応した事例など</p>	10分	
まとめ	教員	ふりかえり	<p>■質疑応答</p> <p>・教員：生徒に講師への質問あれば聞く。</p> <p>■気付いたこと、感想</p> <p>・教員：本時を通して気づいたこと、感想をまとめさせる。(ノート等記入)</p> <p>■意見を共有する。</p> <p>・教員：本時を振り返った意見の発表を促す。</p>	5分	<p>■GTは生徒の発表に対して良かった点や「こうするともっと良くなる」といった点を挙げる。</p>
			<p>■GTから全体講評をもらう。</p> <p>・GT：発表内容から良かった点や不足していた視点等を助言してもらう。</p>		